

町内会のデジタル化

デジタル化って
結局難しいんでしょ？

できるところからやろう！
将来的には絶対必要だよ！



目次

1 デジタル化とは

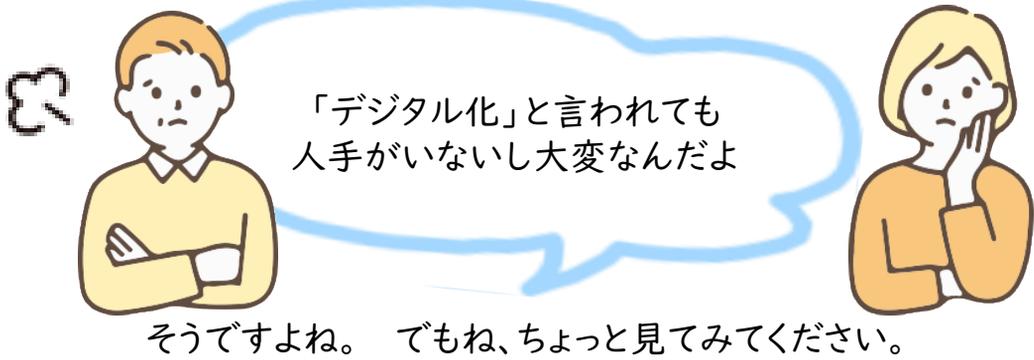
- (1) 町内会のデジタル化とは
- (2) どこから始める？デジタル化

2 いろんなパターンをご紹介

- まずはここから：町内会の文書をデータ化しよう
- 初級：役員でLINEグループを使ってみよう
- 中級：情報発信、電子回覧板(SNS/HP/公式LINE)
- 上級：オンライン会議、電子決済、専用アプリ

◆ 町内会にインタビュー！

札幌市



たとえば「会計」の業務を引き継ぐとき・・・



たとえば「夏祭り準備のお手伝い募集」をしたとき・・・



AとB、どちらの町内会が、これからもうまく続いていきそうですか?
・・・Bですよ。

やってみると役員の負担軽減、担い手確保にもいきる

この冊子を見ながら、ぜひ一緒に取り組んでみてください。

【冊子のテーマ】

できる、興味のある「デジタル化」を見つけよう

1. デジタル化とは

(1) 町内会のデジタル化とは

自治会
町内会の
デジタル化



文章のデータ化
(wordなど)



役員のコミュニケーションのデジタル化
(メール/ LINEなど)



活動の情報発信のデジタル化
(SNS / LINE公式アカウントなど)



総会などの会議のデジタル化
(zoom /メール/googleフォームなど)



会費等の集金のデジタル化
(振込・電子決済など)

デジタル化の利点

回覧板は見ないで
回してしまう。
町内会って
何をしているの？



日々の仕事が
忙しくて役員になるの
はちょっとなあ…



デジタル化って結局、
難しいんでしょ？



デジタル化をすることで…

回覧板を見ない
若い世代へ情報を
伝えやすくなります。



LINEで届くなら
情報を
目にする!

役員会などに直接出席
できなくても、オンライン
で参加できます。



リモートだったら
会議も
参加できる!

役員同士の連絡や
意思確認が
容易になります。



やってみたら、
今までよりも
楽になった!

(2) どこから始める? デジタル化

★
まずは
ここから!

実践内容

町内会の文書を
データ化しよう

6

P^

得られる効果



スムーズな引継ぎ作業

使用ツール



Word/Excelなど

★
★
★
初級編

役員で
LINEグループを
使ってみよう

7

P^



ちょっとした決め事は
集まらずに解決!



LINE

★
★
★
中級編

情報を広く
発信しよう

9

P^



今まで届かなかった層にも
情報が行き届き参加者UP!



Instagram/Facebook/HP

回覧板を
電子化してみよう
※紙も併用

11

P^



LINEでお知らせすれば
情報を見る人も増える!



LINE/書類

★
★
★
上級編

オンラインで会議を
してみよう

14

P^



集まらなくても
顔を見て会議ができる



ZOOM

電子決済を
導入してみよう

15

P^



町内会費の集金の
手間が省ける!

Paypay/Squareなどの
電子決済サービス

専用アプリを
導入してみよう

16

P^



専用アプリで
情報の一元化

専用アプリ

(参考) 主要なSNSのご紹介

SNSとは?

SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) は、スマホやパソコンを使って人々がつながり、情報を共有するインターネット上のサービスです。

代表的な例としてLINE (ライン)、Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム) があります。

写真や動画の共有、グループ活動への参加など、多様な機能を持ち、幅広く活用されています。

■町内会で活用できる主なSNSサービス

ツール名	概要	費用	特徴
LINE公式アカウント 	登録者に 一斉配信	月200通の 発信まで 無料 (それ以上は 有料5,000円/ 月~)	<ul style="list-style-type: none">登録者だけに管理者が情報を一斉に配信する写真と文章を掲載できる全世代が利用している <p>※ 「月200通の発信まで無料」に注意! たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで無料という数え方になります(100人×2回=200通)。世帯数や回覧回数に応じて検討してね。</p>
Facebook 	町内会名 などで作成 し、ホーム ページの代 わりとして 活用できる	無料	<ul style="list-style-type: none">写真と文章を掲載できる誰でも見られる40代・50代・60代の利用者が多い
Instagram 	町内会名 で作成	無料	<ul style="list-style-type: none">写真と文章を掲載できるが、写真が主となる誰でも見られる20代・30代・40代の利用者が多い

POINT

- 目的やターゲットに応じて、どのSNSが適しているのか判断しよう。
- SNSで情報を発信するときは、個人情報などが流出しないように、投稿する前に複数名でチェックすると安心だね!



2. いろいろなパターンをご紹介

町内会のデジタル化実践 まずはここから

町内会の文書をデータ化しよう

～導入の仕方～

STEP1

町内会で使える
パソコンやスキャナを
確保しよう



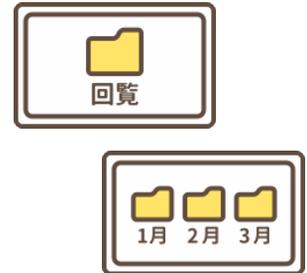
STEP2

回覧物をスキャン
または写真を撮って
データ化する



STEP3

町内会のパソコンに
データを入れて
共有しよう



POINT

- ・どのフォルダに、何を保存しているのか分かるように、フォルダ分けをしよう。
- ・個人情報などのデータにはパスワードを付けて、役員内のみで共有し情報流出を防ごう。



札幌市の制度をご紹介!

町内会デジタル活用促進補助金

円滑な情報共有、地域への積極的な情報発信のためなど、町内会のデジタル活用にかかる環境整備にかかる費用の一部を補助する制度です!

※ 年度によって異なるので、ホームページを確認してね
<札幌市ホームページ 町内会デジタル活用促進補助金>



役員でLINEグループを使ってみよう

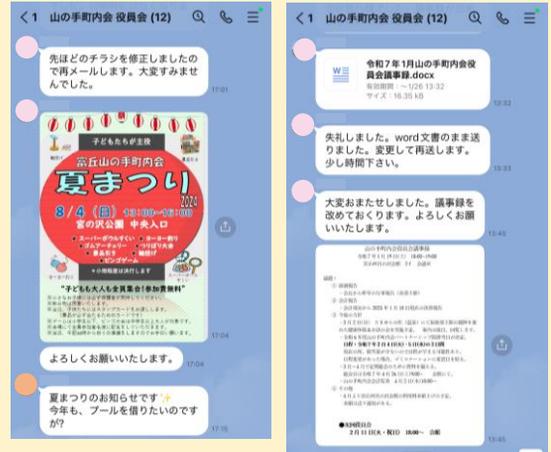
導 入 事 例

まず役員間でLINEを活用!

手稲区富丘山の手町内会

Q. 導入してみて良かったことは?

A. 簡単な質問や確認事項、決め事などは、わざわざ集まる必要がなく、LINE上のやりとりで済ませられるようになり、負担が軽減しました。
PDFやワードファイルなども送れるので、行事のチラシや会議の議事録はグループで共有しています。



～導入の仕方～

STEP1

LINE上で役員同士が友だちになる



STEP2

役員の誰か一人がLINEグループを作成し、他のメンバーを招待する



STEP3

招待された人はグループに参加して、自己紹介する



※LINEの登録名が本名でない場合があり誰かわからないこともあるため。

POINT

・LINEグループを使って役員負担が軽減することで、現役世代が町内会運営に参加しやすくなるよ!



(参考)LINEグループの作り方



導 入 事 例

Instagramで情報発信!

厚別区シティアベニュー町内会

Q. なぜInstagramを選んだの?

A. Instagramは、若年層を含め幅広い世代に閲覧されやすく、視覚的に活動の雰囲気を伝えられる点が大きな魅力です。

Q. SNSで情報発信する効果はあった?

A. 近年は、地域企業・団体との協力による事業も多く、「企業や団体が地域に関わっていること」を町内会内外に広く知っていただくきっかけとなり、地域への関心や連携の促進にもつながっています。



～導入の仕方～

STEP1

利用するSNSで町内会アカウントを開設



※メールアドレスが必要です。

STEP2

QRコードやリンクなどを共有することで知ってもらう



STEP3

投稿を作って情報を発信する



月1回更新しよう!

POINT

SNSを通じて情報を発信するときは、以下のポイントに注意しよう!

① プライバシーの保護

個人情報や住所、電話番号などを不用意に公開しない。
他人が写っている場合は、許可をとってから投稿する。

② 投稿内容の適切性

他人を不快にさせる内容や差別的な表現を避ける。

③ 定期的に更新しよう

長い間更新がないと、住民は離れていきます。



情報を広く発信しよう ～ホームページ(HP)編～

導 入 事 例

連合町内会のホームページで単位町内会と一緒に情報発信
中央区幌西地区連合町内会



Q. 導入してみて良かったことは？ (参考) <https://sapporokosai.com/>

A. 連合町内会と単位町内会と一緒に発信することで、住民にとってより身近な情報を発信できます。地区の情報が1つの場所に集まるので、見やすいです。

➡ 詳しくは17ページへ!

～導入の仕方～

STEP1

どんな情報があると良いか、運用ルールを考える



STEP2

業者など詳しい人にHPを作成してもらい公開する



業者だと最低でも20万円程度かかるよ

STEP3

投稿を作って情報を発信する



POINT

- ・見やすいHPをつくるために、定期的にHP運営者で集まって、改善したいことを話し合しましょう。
- ・HPがあることは、行事のチラシなど機会を捉えて周知しましょう。



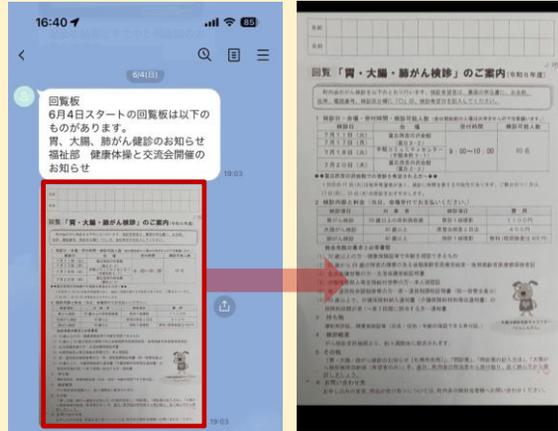
回覧板を電子化してみよう

導 入 事 例

公式LINEで電子回覧板!

Q. 導入してみて良かったことは?

A. 記録がLINE上に残るので、過去のお知らせ情報をさかのぼる事ができます。共有された画像は、画面上で拡大して読めるので、読みやすい!



～導入の仕方～

STEP1

LINE公式
アカウントの作成



導入
無料

詳しい導入手順は
公式HPから!



STEP2

回覧物をスキャン
または写真を撮って
データ化する



STEP3

町内会LINE公式
アカウントにデータを
載せる



POINT

- ・友達登録者は地道に増やそう。転入時やイベントでチラシを使って直接案内すると効果的。
- ・紙の回覧板を希望する世帯がある場合は、電子回覧板と紙の回覧板を併用しよう。(次ページ参照)
- ・LINE公式アカウントの無料版は月200通が上限です。電子化する情報は取捨選択をしよう。

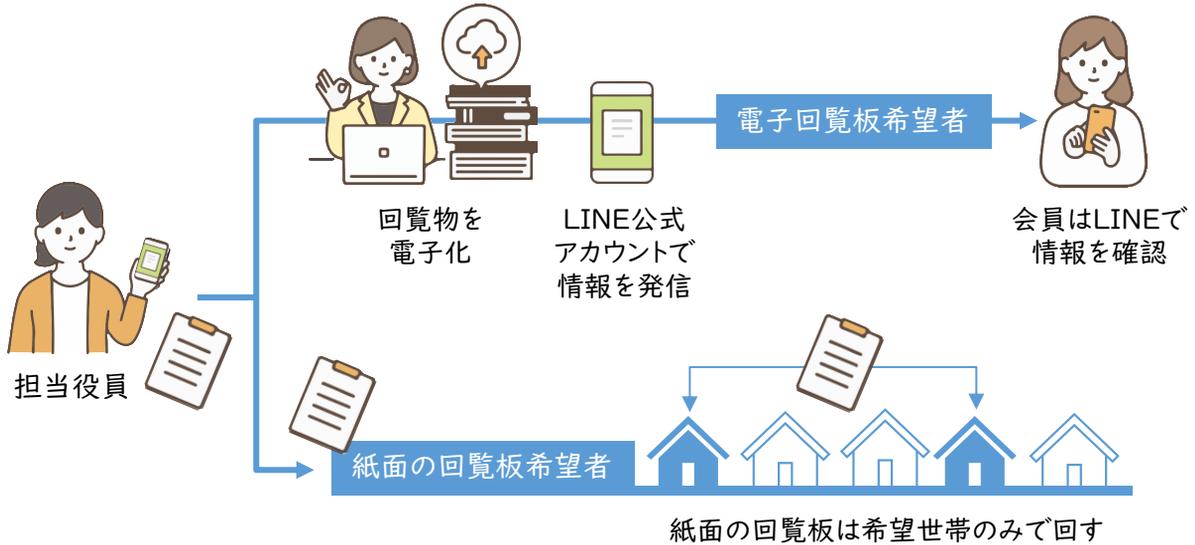
※ たとえば登録者100人の町内会は、月2回の発信までは無料という数え方になります(100人×2回=200通)。写真も1カウントのため要注意!

※ 有料プランもあります(月5,000通までは5,000円/月など)。料金を負担している町内会もあります。回覧の回数に応じて検討しましょう。



(参考) LINE公式アカウントの活用方法

電子回覧板と紙面回覧板の併用(イメージ)



ホームページを活用したLINE公式アカウントの電子回覧板

- LINE公式アカウントの無料版は月200通の配信上限があることから、お知らせだけを最小限で配信し、回覧はホームページで閲覧してもらう仕組みをとっている町内会もあります。



(参考) LINE公式アカウントの活用方法

LINE公式アカウントでの安否確認

- LINE公式アカウントから、登録している自治会の会員住民あてに確認メッセージを送付できます。
- 受け取った人が、webフォームから安否情報を登録すると、本部の管理画面に自動で反映されます。



東京都主催「町会つながる！ デジタルコンテスト」受賞
東京都日野市南新井自治会

https://www.seikatubunka1.metro.tokyo.lg.jp/chokai-digital/award_3.html

LINE公式アカウントのリッチメニュー
(名古屋市守山区上志段味(かみしだみ)自治会)

- LINE公式アカウントのトーク画面下部に固定表示される画像付きのメニュー。
- 画像をタップすると、ホームページや大切な情報へのリンクを設定できます。



オンラインで会議をしてみよう

～導入の仕方～

STEP1

ZOOM
アカウントの作成



※メールアドレスが
必要です。

STEP2

ZOOMでオンライン
会議を設定し、
アクセスできるリンクを
会議参加者に
共有する



STEP3

参加者はリンクから
オンライン会議に
参加する



POINT

- ・時間と場所を選ばないので、いままでなかなか参加できなかった人も会議に参加するきっかけに!
- ・ZOOMはオンライン会議サービスのなかでも、利用率が78.4%となっており、親しみやすく使いやすいよ!
(NRI 2021オンライン会議ソフト日中比較研究より)



電子決済を導入しよう

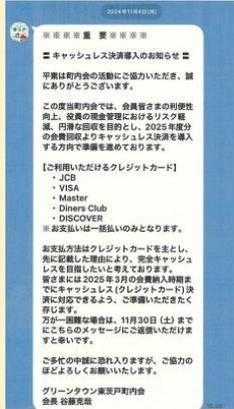
導 入 事 例

スマホで集金をデジタル化!

北区グリーントウン東茨戸町内会

Q. 導入してみて良かったことは?

A. 役員が各々のスマホを持って会員宅をまわり、タッチ決済で集金。電子決済サービスを導入したことで、現金で集金する際の手間や紛失のリスクが軽減しました。領収証も電子発行できるので、事務作業が大幅に削減できました。



詳しくは19ページへ!

～導入の仕方～

STEP1

決済サービスのアカウント作成と各種申請



STEP2

決済サービスの選択システムの使い方を学ぶ

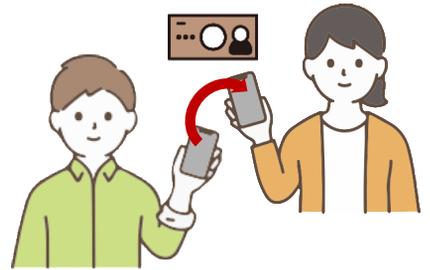
どのカードが使える?
端末は必要?
支払日は?
手数料は?



分からないときは
カスタマーサービスも
活用しよう!

STEP3

町内会員へお知らせをして電子決済を実施



スマホを使ったタッチ決済や
リンク決済で集金

POINT

導入さえしてしまえば、集金にかかる手間が省けて、現金を管理する上で出てくるリスクも削減できる!



町内会・自治会専用アプリを導入してみよう

導 入 事 例

専用アプリで業務を一括デジタル化

手稲区ほしみ町内会

Q. 導入してみて良かったことは？

A. 複数の自治会・町内会アプリを比較検討し、Yumicomを導入しました。講習会を複数回開催し、現在は世帯導入率が約8割に増えています。LINEは心配という方や、80代の世帯も導入しています。年間費用は30万円ほどかかるものの、カレンダー機能、回覧板機能、チャット機能、電子決済機能（3.6%の手数料）などがあり、役員の負担軽減も大きく、導入した価値はあったと感じています。



Yumicomの主な機能

- イベントカレンダー機能
- グループチャット機能
- デジタル回覧板
- 会費集金機能

詳しくは
21ページへ!

～導入の仕方～

STEP1

利用するサービスのアカウントを作成



など

Eメッセージ回覧板

※メールアドレスが
必要です。

STEP2

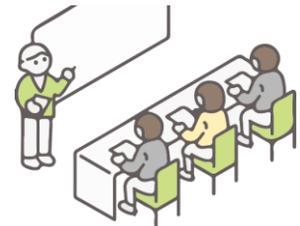
サービス内容に
基づいて
活用する機能と
使い方を学ぶ



どんな機能がある？
操作方法は？
情報への
アクセス権限は？

STEP3

町内会員向けに
導入のための
使い方講座などを
実施する



POINT

サービスによってはこれひとつで回覧板・集金・文書保管・イベントカレンダーなど、情報を一元化することができて町内会の活動状況がクリアになるね！





連合町内会がホームページを持ち 単位町内会と一緒に運営！

やってみれば意外と簡単ですよ

中央区幌西地区連合町内会 土井 清純 会長
中央区幌西まちづくりセンター 脇山 秀 所長

Q.連合町内会のホームページはいつできたのですか？

A.令和5年3月にできました。



Q.誰が作ったのですか？

A.専門の業者に委託をして作成しました。

Q.このホームページには何が載っているのですか？

A. イベントのお知らせや回覧板、町内会エリアマップなどを盛り込みました。

Q.このホームページのおすすめやポイントを教えてください！

A. 連町が1つホームページを持って、それを単町も活用して情報発信ができるところです。幌西地区の情報が1つに集約されています。特に「イベント・お知らせ」のページがおすすめです。イベントのチラシ等のデータをホームページに載せるのは簡単なので、すぐにデジタル化ができます。

Q. どうしてホームページを作ることにしたんですか？

A. きっかけは、幌西連町の、50周年記念プロジェクトでした。令和3年度に、幌西地区に住む・働くさまざまな世代を30名程度集めて、「未来につながる取組アイデア」などを3回意見交換しました。令和4年度に、この意見などをもとに、これからのまちづくり活動を行う上での指針をわかち合うための「まちづくりビジョン」を作成しました。ここでは、幌西地区の未来像と、その実現につなげるための5つの目標を設定しました。その目標の1つに、『情報の受発信でつながるまちづくり』をあげ、知って欲しい情報を発信し、知りたい情報がいつでも受け取れるようなホームページを、連町として開設することを決めました。

Q.誰がホームページの記事を更新しているんですか？

- A.各単町にホームページ担当が1名います。若い方から高齢の方まで様々です。うちでは各単町にアカウント(ID・パスワード)を発行しており、各自のパソコンで自由に作業ができるため、各単町のページは各単町の運用にお任せしています。そのほか連町のページは連町で管理しています。

▼ホームページについて話し合う様子

Q.記事の更新は簡単にできるものですか？

- A.慣れれば簡単な記事だと、5分で出来ますよ(笑)
WordPressというシステムを使っており、前の記事を複製できるので時短できます。



Q.費用はいくらですか…？

A. <立ちあげ時>

約130万円でした。なお、これにはより良いホームページにするため複数回開催した「おしゃべり会」や「編集会議」などの運営一式を含んでいます。札幌市の【地域まちづくりビジョンスタートアップ助成金】の補助100万円を受け、連町の負担金額は実質30万円程度でした。

<現在>

立ち上げ後2~3年目は、適宜の改修作業が生じたため、30~50万円かかりました。そのほか、インターネットに接続するため毎年継続的に発生する費用としては、Wi-fi契約費が約5万円(月4千円×12か月)、サーバ維持費用が約3万4千円です。

Q.費用は連町が負担しているのですか？

- A.はい。すべて連町の会計から支出しています。
単町にとっては、実質費用がかからず情報発信できるので、この仕組みは好評です！



Q.最近もホームページがレベルアップしたと聞きましたが…

- A.令和6年度には、新たに連町関連イベントカレンダーと、町内会行事にご協力いただけるボランティア募集のページを増設しました。

Q.最後に、これからホームページを立ち上げる連町にひとこと！

- A.幅広い世代に町内会の活動を知ってもらうためには有効なツールだと思います。ただ、連町の情報は住民にとって遠く感じることもあるので、連町がホームページを作る際には、うまく単町と連携しながら、単町と一緒に情報発信をすると良いと思います！これは同時に単町の情報発信支援にもなるため、連町の存在価値を高めることにもつながります。
このほか、若い人から高齢者まで、みんなで話し合いながら進めていくことで、ホームページへの思い入れややりがいを持ってもらうことが大切だと思います。



令和7年4月から全世帯で 町内会費のキャッシュレス決済を導入！

札幌市で1番進んでいる町内会を目指しています

北区グリーンタウン東茨戸町内会 谷藤 克哉 会長

Q.どんな町内会なんですか？

A. 約160世帯の町内会です。

令和3年、新たに造成された住宅地の誕生後ほどなくして設立されました。現在、20代から30代を中心とした若い世代が多く住んでいます。

Q.町内会費のキャッシュレス決済とは何ですか？

A. 役員のスマホにタッチ決済対応のクレジットカードやスマホをかざすだけで支払うことができます。

対応ブランドは、JCB、VISA、MasterCardなどの主要なカードが含まれています。



Q.どうやって導入したんですか？

A. Square (スクエア) というアプリツールを利用しています。

Q.なぜこのツールを選んだんですか？

A. スマホだけで手続きが完結する点や、カスタマーセンターの丁寧な対応が魅力的でした！

Q.費用や利用申込、大変でしたか？

A. **費用は無料**です！

利用申込では、町内会活動の年間スケジュール、規約、役員名簿など、既存の資料を提出するだけなので、それほど手間はかかりません。

まずはアカウントを作成し、約1週間で承認がおりました。

その後はSquareがカードブランド(JCB、VISA、MasterCardなど)ごとに審査を行い、順次利用可能になりました。



Q.利用手数料はひかれてしまう？

A. 基本の手数料は2.5%です。

つまり、1世帯あたりの町内会年会費10,800円に対して、270円が手数料として差し引かれます。

Q.それでもこれを導入したのはなぜでしょう？

A. 過去に他の町内会で、集金した町内会費が紛失・盗難にあった事例を知り、**役員の負担や責任を軽減するため**に導入を決めました。

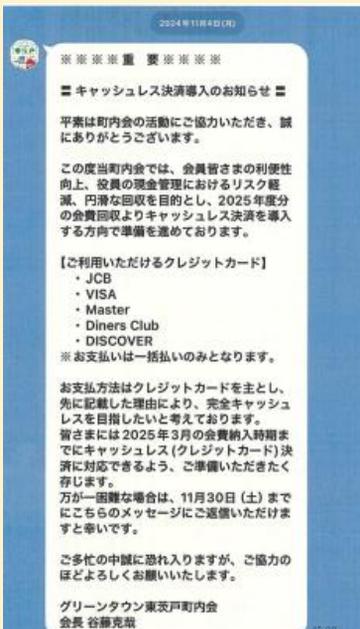
一度登録すれば、スマホアプリ上で会員の町内会費支払状況を簡単に管理できる点も便利です。

Q.実際どうやって使うんですか？

- A.①集金を担当する役員のスマホに無料のSquareアプリをインストールしてもらいます。
②各世帯を個別訪問します。
③スマホ画面を提示して、支払いをしていただきます。
当町内会では、この方法で運用していきます。

Q.デジタル化といえども結局、個別訪問は必要なんですか？

- A.このツールでは、URLリンクを送付して相手に決済手続きをしてもらう完全非対面決済も利用可能です。
当町内会でも検討しましたが、あえて導入しない判断をしました。
非対面の場合、利用手数料が約3.6%と、対面決済(2.5%)に比べて高額であることに加え、会費を年1回払いにしているため、**対面で会員と直接お話しできる場をむしろ大切にしたい**と考えたからです。



Q.会員の方にはどうやって説明を？

- A.回覧板としてLINE公式アカウントを導入しており、全世帯に登録していただいているため、会員全員にそこでお知らせしました！
決済時には「すごいね」と言って、好意的にお支払いいただけます。
クレジットカード決済を利用することで、現金を準備する手間が省けるほか、通常の買い物と同じようにポイントが付与されるため、支払う方にとって多少のお得感があるようです。

Q.反対されなかったのですか？

- A.ほとんど反対意見はありませんでした。
ただ、お一人から「決済手数料がかかるのであれば、現金でのやりとりの方が良いのでは」とのご意見をいただきましたが、金銭管理の負担やリスクなどについて説明したところ、ご納得いただけました。

Q.最後に、これを導入したいと思う町内会にひとこと

- A.ご高齢の方が多い場合、たしかに導入が難しい面もあるかもしれませんが。
それでも、**会員のライフスタイルに合わせた工夫をしていくことが重要**だと考えます。
慣れないことでも少しずつ進めていけば、「導入して良かった」と、将来必ず思える日はくるはず！



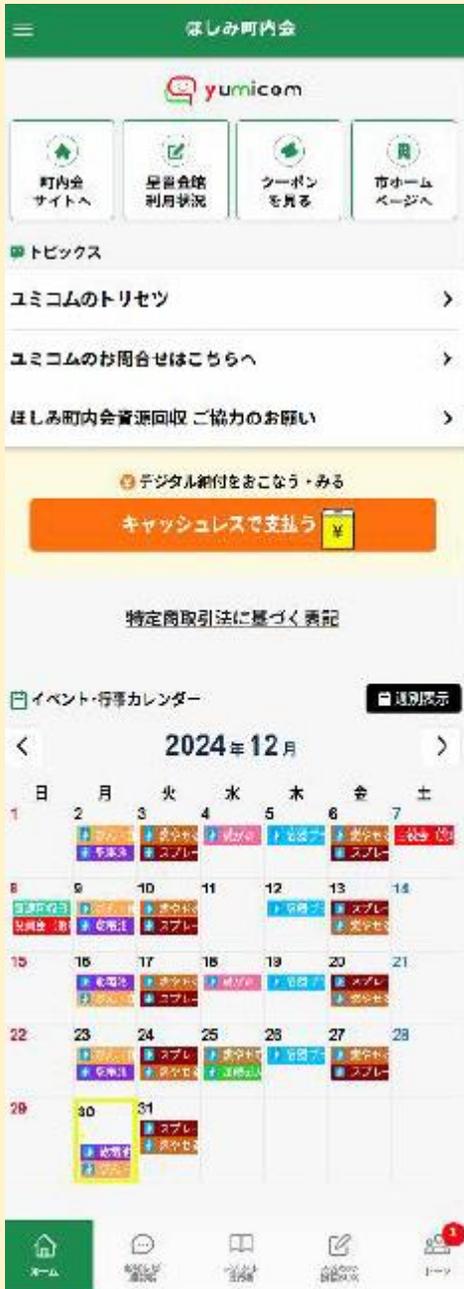
※ マチトモ応援大使HAMBURGER BOYSと谷藤会長(R6 町内会啓発ラジオ出演時の写真)



令和6年10月から町内会アプリ 「ユミコム」の正式運用を開始！

町内会のデジタル化、1つのアプリで全部叶えました

手稲区ほしみ町内会 渡辺 稔文 会長



Q.どんな町内会ですか？

A. 約330世帯の町内会です。

ほしみ駅の開業に合わせて住宅分譲が始まり、平成8年に隣の町内会から分離・独立しました。当時は30～40代の若い世代が多かったのですが、それから30年が経ち、現在は60～70代が中心になっています。役員は輪番制で、家族向けのイベントをメインに開催しています。子どもが少なくなった今でも、夏の焼肉大会には約200人が集まります。

Q.町内会専用アプリを導入したと聞きましたが…

A. 「ユミコム (Yumicom)」というアプリを導入しました。

Q.なぜデジタル化を進めることにしたんですか？

A. 高齢化が進んできたことを受けて、令和2年に町内会に関する意識調査を実施しました。

「町内会をやめたい」という意見はほとんどなかった一方で、「役員の負担が大きい」「情報がうまく伝わらない」といった課題が多く寄せられました。今後も町内会を維持しながら負担を減らすためにはデジタル化が今、必要だと判断しました！

Q.なぜユミコムを選んだのですか？

A. 「デジタル化できることは、全部やっつけてしまおう！」という意気込みで、最初からひとつで全部そろうアプリを探していました。複数のアプリを使い分けるのは、会員にも役員にも負担になりますからね…。その中で、1番機能が豊富で使い勝手もよかったのがユミコムでした。

Q.ユミコムでは、具体的に何ができますか？

A. ほとんどの町内会業務に対応しています。

たとえば電子回覧板、会員管理、LINEのようなメッセージ機能、会費のオンライン決済、行事カレンダーや出欠確認、高齢者の見守り機能、災害時の安否確認機能など、かなり多機能です！

Q.いつ導入したんですか？

A. 令和5年10月から1年間のトライアルを経て、令和6年10月から正式に運用開始しました！

Q.現在のアプリ導入率は？

A.約1年かけて、8割以上の世帯が導入しています。

Q.すごい普及率ですね。その理由は？

A.最初はやっぱり大変でした。

試験導入のお願いを3回回覧し、導入ガイドを2回全戸配布。さらに会員向けの説明会も6回開催し、初期登録をその場で一緒に行いました。

「8割以上に導入できれば、紙の回覧や会費集金を大幅に省力化できる!」という思いで、**かなり本気で取り組みました**(笑)

うちは役員が輪番制なので、「自分が楽になる仕組み」として、各家庭が自分ごとと受け止めてくれたのが大きかったと思います。

Q.ユミコムの利用経費はどのくらいですか？

A. 毎年の経費は、基本料金:約2万円(2千円×12ヶ月)と、世帯数に応じた利用料:1世帯あたり月40~90円×12ヶ月です。うちの町内会では、年間で約30万円弱かかります。ほか、導入初年度には初期設定費として10万円かかりましたが、【札幌市町内会デジタル活用促進補助金】を活用しました。

Q.令和5年下半期から、会費のオンライン収納も始めたそうですね？

A. はい。各会員がスマホで手続きできます。支払方法も4種類から選べます。

- ①クレジットカード決済(VISA・Masterなど)
- ②PayPay
- ③コンビニ決済(ローソン・ファミリーマート・セイコーマート)
- ④銀行振込

①②はスマホ上で即時決済、③④はスマホで支払方法を選ぶと会員情報と紐づき番号が発行され、レジやATMでの支払手順がメールで届きます。

集まった会費は、ユミコムから町内会口座にまとめて入金します(月末締め、翌月15日)。

支払状況はすぐに自動でリスト化され、未納者にはボタン1つでメッセージが送れます。

収納手数料は、

- ①②クレジットカード決済・PayPay:3.6%(税別)
- ③コンビニ決済:金額により、150~200円/件。5,000円超は4.5%(税別)
- ④銀行振込:1件あたり40円+振込手数料(会員負担)

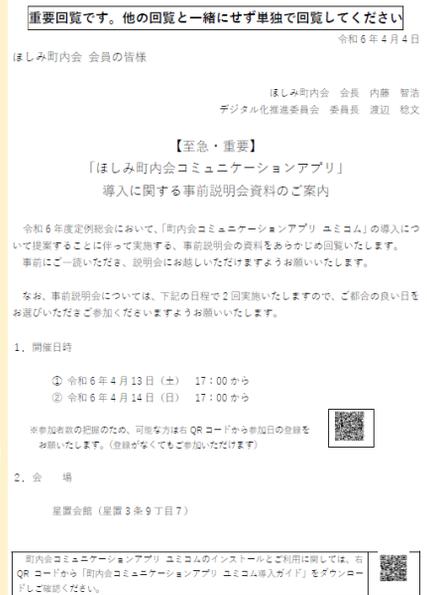
会計作業が本当にラクになりました!

Q.最後に、導入を検討している町内会にひとこと

A.大事なものは「初動」と「計画」です!

やる気だけでは難しく、しっかりとした周知・説明ができないと導入率が伸びず、結局は負担が増えてしまいます。うちでは令和7年度中に、スマホが使える世帯には完全にユミコムに移行してもらい、紙の回覧板と会費の集金は廃止する予定です。

「何を目的に」「何をデジタル化したいか」「どう進めるか」を明確にしてからスタートするのが、成功のカギだと思います!



※ 左から、内藤相談役(前会長)、渡辺会長とユミコム画面、宮川相談役(元副会長)

(参考) 自治会・町内会のデジタルツールまとめ

①自治会・町内会専用アプリ

ツール名	概要	費用	町内会の活用方法
①結ネット	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンアプリ 電子回覧板や情報発信ツールとして利用 災害時には安否確認システムとして活用 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会 3,000~円/月 世帯 100円以下/月 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの案内や参加確認、広報や資料を掲示板として共有できる。 災害時には連絡に対しての個別の既読確認ができる。
②eメッセージ回覧板	<ul style="list-style-type: none"> 全国の自治体・学校で利用 会員にメールで配信 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会 4,000~円/月 	<ul style="list-style-type: none"> 電子回覧板と紙の回覧板を併用して使っている。 メリットは「緊急時の情報発信の速さ」や「好きな時に回覧板を見返せる」等の意見がある。
③Yumicom	<ul style="list-style-type: none"> 電子回覧板や世帯管理などもできる 電子決済機能も可能 	<ul style="list-style-type: none"> 基本料金+世帯ID数 300世帯で 28,600円/月 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンやタブレットでも利用が可能。 回覧板機能とカレンダー機能を持っている。 グループチャット機能がある。 文章や写真の保全ができる。

※上記のアプリの他にマ・メール、町内開帳など、複数の有料アプリがあります。

②自治会・町内会(加入世帯内)で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	活用方法
LINEグループ	<ul style="list-style-type: none"> 身近な友だち向け・少人数での利用に適している 	無料	<ul style="list-style-type: none"> 役員間などでは使っている。(町内会全体は参加者が多くなり運営が難しい。)
LINE公式アカウント	<ul style="list-style-type: none"> 登録者に一斉配信 	月200通の発信まで無料 (それ以上は有料5,000円/月～)	<ul style="list-style-type: none"> 登録者に管理者が情報を一斉に配信する 登録者から管理者へ返信ができるが、他の登録者はそのやり取りを見ることができない。 閲覧しているかはチェックできない ※「月200通まで無料」に注意 たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで無料という数え方になります(100人×2回=200通)。写真も1カウントのため注意!
LINEオープンチャット	<ul style="list-style-type: none"> 登録者に一斉配信大人数への情報発信に適している ニックネームで参加できるのでプライバシーが守られる 	無料(5,000名まで参加可能)	<ul style="list-style-type: none"> 上記のLINEグループが匿名になったもの 会話はすべての登録者が見ることができる 既読数が解る。 リアクションのルールを誰が見たかわかる ニックネームでの登録、無料で運用できることが、LINE公式アカウントと異なる
LINE WORKS	<ul style="list-style-type: none"> 社内や取引先とのビジネスコミュニケーションツール 少人数での利用に適している 	30人まで無料(それ以上は有料)	<ul style="list-style-type: none"> 組織内でのコミュニケーション、情報共有に適している LINE利用者でチャット形式でコミュニケーションが取れる 既読者を把握できる 最大200人まで参加可能なビデオ通話・音声通話
Band	<ul style="list-style-type: none"> LINEのようにグループでのお知らせが可能 日程共有・出欠管理などの機能 グループのコミュニケーションを効率化させる 	無料	<ul style="list-style-type: none"> 活動ごとにグループを複数作成可能 特定の人物にのみメッセージを送ることが可能 掲示板タイプなので過去の投稿も確認することが可能 PTAなどで活用している事例がある

③自治会・町内会(未加入世帯も含む)で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	活用方法
Facebookページ	<ul style="list-style-type: none"> 町内会名などで作成し、ホームページの代わりとして活用できる 	無料	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章を掲載できる 誰でも見られる 40代・50代・60代の利用者が多い Instagramと連動している
Instagram	<ul style="list-style-type: none"> 町内会名で作成 	無料	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章を掲載できるが、写真が主となる 誰でも見られる 20代・30代・40代の利用者が多い

参考～LINEグループ、LINE公式アカウント、LINE WORKSの違い

		LINEグループ	LINE公式アカウント	LINE WORKS
特徴		双方向のやり取り	基本は配信型	双方向のやり取り
ユーザー管理		誰とでも自由につながる	管理者が操作可能	管理者が登録したメンバー
ユーザー登録方法		招待・交換	二次元コードなどから	専用のIDとパスワード
料金		無料	月200通まで：無料 月5,000通まで：5,000円/月 月30,000通まで：15,000円/月 ※「月200通まで無料」に注意 たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで無料という数え方になります(100人×2回=200通)。写真も1カウントとなります。	【フリープラン】 ユーザー上限 30人 【スタンダード】 基本容量1TB 540円/月 【アドバンスド】 基本容量100TB 960円/月 ※非営利団体向けの特別プラン(上限1,000世帯)
参加人数		上限なし	上限なし	非営利団体プラン 1,000世帯
機能	招待制	○	×	○
	カレンダー	×	○	○
	配信	×	○	×
	連携機能	×	○	○

※LINE WORKSでは外部ツール(kintoneなど)との連携が可能となっています。



町内会活動のヒント
町内会のデジタル化

令和7年(2025年)4月発行



さっぽろ市
01-D02-25-1004
R7-1-71

SAPPORO

